

第1学年 技術・家庭科（技術分野）年間指導計画及び評価計画

平成27年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①生活や技術への関心意欲態度	②生活を創意工夫する能力	③生活の技能	④生活や技術についての知識、理解	授業中における評価	授業後における評価
4	技術分野 内容A (1) アイ 1 技術を見付けよう 2 技術とわたしたちの生活 3 技術分野の学習	①技術の進展と生活・産業 ②資源の有効活用と環境 ③持続可能な社会と共生 ④技術分野で学ぶ内容 ⑤学習の進め方と作業の安全 ⑥技術分野の学習の目標をもとう	3	・技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割について関心を示している。 ・技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき、技術の進展と環境との関係について関心を示している。				・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート
5 6 7	技術分野 内容A (1) ア、A (3) 1 ものづくりの工夫と進め方	①製品の工夫と技術の進歩 ②ものづくりの進め方	1	・技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割に関心を示している。 ・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、使いやすさ及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。			・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート
	技術分野 内容A (1) イ (3) アイウ 2 材料	①さまざまな材料 ②材料の特徴 ③材料と環境とのかかわり	4	・技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき、技術の進展と環境との関係について関心を示している。			・木材、金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート ・作品（製図等） ・定期考査
	技術分野 内容A (1) アイ (3) アイウ 3 設計	①設計の進め方 ②使用目的と製作品決定 ③機能を考える ④構造を考える ⑤材料を考える ⑥加工法を考える ⑦接合方法と仕上げ方法を考える ⑧製図	6			・切断、切削などに必要な工具や機器を正しい使用方法に基づいて適切に操作することができる。 ・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法などでかき表すことができる。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。	・木材、金属及びプラスチックなどの特徴と利用方法についての知識を身に付けている。 ・材料に適した切断、切削などの方法についての知識を身に付けている。 ・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身に付けている。	・授業観察	
9 10 11 12	技術分野 内容A (3) ウ 4 製作 5 さまざまな材料による製作	①部品表と工程表 ②けがき ③切断・切削 ④穴あけ・溝掘り・曲げ ⑤ねじ切り ⑥部品の検査と修正 ⑦組み立てと表面と角の仕上げ	15			・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立て・接合、仕上げができる。		・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート ・作品 ・定期考査
	技術分野 内容A (2) ウ 6 材料と加工に関する技術とわたしたち	①社会・環境とのかかわり ②材料と加工に関する技術とわたしたちの未来	1	・材料と加工に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・材料と加工に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		・材料と加工に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・授業観察	・ワークシート
1 2 3	技術分野 内容A (3) AC (1) ア (2) ア 1 わたしたちの生活と生物育成 2 作物の栽培	①生物育成とは ②作物や家畜などの特性と生物育成技術 ③生物育成のライフサイクル	1	・技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割について関心を示している。			・光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 ・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート ・レポート ・定期考査
		①栽培ごよみ ②環境要因 ③生育の規則性と技術 ④土づくり ⑤たねまき、育苗と植えつけ ⑥定植後の管理 ⑦収穫の方法と保存、収穫後の管理 ⑧栽培計画	4	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培又は飼育方法を検討しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。 ・成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切に対応を工夫している。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	・光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 ・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。 ・育成する生物の各成長段階における肥料、飼料の給与量や方法をはじめとした管理作業、及びそれに必要な資材、用具、設備などについての知識を身に付けている。 ・育成する動植物に発生しやすい主な病気や害虫等とともに、病気や害虫等に侵されにくい育成方法や、できるだけ薬品の使用量を少なくした防除方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート ・レポート ・定期考査
年間合計時数			35	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第1学年 技術・家庭科（家庭分野）年間指導計画及び評価計画

平成27年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①生活や技術への関心意欲態度	②生活を創意工夫する能力	③生活の技能	④生活や技術についての知識、理解	授業中における評価	授業後における評価
4	家庭分野ガイド ダンス・わたしの成長と家族	わたしの成長・わたしを支えてくれた家族や周囲の人びと	3	小学校の学習を振り返り、3年間の見通しをもって学習に取り組める。	他己紹介をしてクラスの仲間の様子がわかる。	自分の考えをワークシートや発表で表現することができる。	これまでの自分の成長を振り返り、中学校での家庭科を一生懸命取り組もうとする。	観察 ワークシート	ワークシート
5	健康と食生活	健康と食生活・食品の選択	3	自分の食生活に関心をもち、健康によい食習慣について考えられる。	自分の食習慣を振り返り、課題が見つかる。	食品と栄養素の関係がよくわかっている。	健康の基本の三本柱がわかり、栄養のバランスを考えて食事をとることの大切さがわかる。	観察 ワークシート	観察 ワークシート 小テスト
6	衣生活と自立	日常着の活用	4	衣服と社会生活とのかかわりに関心をもち、場合に応じた服について考えられる。	目的に応じた着用や個性を生かす着用について工夫している。	日常着の表示が読み取れてそれに応じた扱いができる。	学んだことをもとにして場合に応じた衣服を着用しようとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート 課題
7	衣生活と自立	わたしや家族の生活を豊かにする工夫・布を用いた物の製作	3	今まで身につけた力をもとに自分や家族の生活が豊かになる作品をつくることができる。	課題を理解して、工夫して作業に取り組んでいる。	安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。	布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。	観察 作品 作品カード	観察 作品 作品カード
9	衣生活と自立・定期テスト	わたしや家族の生活を豊かにする工夫・布を用いた物の製作	4	今まで身につけた力をもとに自分や家族の生活が豊かになる作品をつくることができる。	課題を理解して、工夫して作業に取り組んでいる。	安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。	布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。	観察 作品 作品カード	観察 作品 作品カード
10	衣生活と自立	わたしや家族の生活を豊かにする工夫・布を用いた物の製作	3	今まで身につけた力をもとに自分や家族の生活が豊かになる作品をつくることができる。	作り上げた作品に自分で考えた装飾が入れられる。	安全で能率よく、布を用いた物の製作をすることができる。	布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。	観察 作品 作品カード	観察 作品 作品カード
11	健康と食生活	生活のリズムと食事・栄養素のはたらきと食品	3	中学生の時期の栄養の特徴がわかり自分をふりかえることができる。	食事点検などから食生活を見直し、食事の取り方を工夫しようとしている。	自分の食生活をふりかえることができる。	五大栄養素の種類とはたらき、中学生の時期の栄養がわかる。	観察 自己評価 小テスト	ワークシートの確認 定期テスト
12	健康と食生活	中学生に必要な栄養・調理をしよう	3	基礎的な日常食の調理のやり方を知り計画をたてられる。	安全と衛生に留意して食品や調理用具を適切に使用できる。	実習の内容を理解して、班員と協力して作業に取り組める。	日常食の調理に関心をもち、調理技術を習得しようとしている。	観察 技能テスト 調理レポート	ワークシートの確認 定期テスト
1	よりよい消費生活	消費者の権利と責任・消費生活のトラブルを防ごう	3	消費者として、自覚を持って行動できる。	悪質商法の例を知り、自らの生活で考えて行動できる。	消費生活で困ったときの手立てが理解できる。	消費者の基本的な権利と責任を理解する。	観察 ワークシート	観察 ワークシート
2	健康と食生活・定期テスト	調理をしよう	3	基礎的な日常食の調理のやり方を知り計画をたてられる。	安全と衛生に留意して食品や調理用具を適切に使用できる。	実習の内容を理解して、班員と協力して作業に取り組める。	日常食の調理に関心をもち、調理技術を習得しようとしている。	観察 技能テスト 調理レポート	ワークシートの確認 定期テスト
3	快適に住まう	住まいのはたらき・快適な住まい	3	住まいについて関心をもち、住まい方の課題に取り組もうとしている。	自分の室内環境について課題を見付け、安全で快適な住まい方について考え工夫している。	自分の家庭の住まいを快適にするための課題に前向きに取り組める。	安全で快適な住まいにするための具体的な方法について理解している。	観察 ワークシート	ワークシートの確認 定期テスト
年間合計時数			35	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第2学年 技術・家庭科（技術分野）年間指導計画及び評価計画

平成27年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①生活や技術のへの関心意欲態度	②生活を創意工夫する能力	③生活の技能	④生活や技術についての知識、理解	授業中における評価	授業後における評価
4	技術分野 内容C (1)ア (2)ア 2 作物の栽培	①栽培ごよみ ②環境要因 ③生育の規則性と技術 ④土づくり ⑤たねまき、育苗と植えつけ ⑥定植後の管理 ⑦収穫の方法と保存、 収穫後の管理 ⑧栽培計画	4	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培又は飼育方法を検討しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。 ・成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切に対応を工夫している。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	・光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。 ・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。 ・育成する生物の各成長段階における肥料、飼料の給与量や方法をはじめとした管理作業、及びそれに必要な資材、用具、設備などについての知識を身に付けている。 ・育成する動植物に発生しやすい主な病気や害虫等とともに、病気や害虫等に侵されにくい育成方法や、できるだけ薬品の使用量を少なくした防除方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード
5	技術分野 内容C (1)ア (2)ア 6 生物育成に関する技術とわたしたち	①社会・環境とのかかわり ②生物育成に関する技術とわたしたちの未来	1	・生物育成に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・生物育成に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		・生物育成に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード
6	技術分野 内容B (1)アウ 1 わたしたちの生活とエネルギー変換	①エネルギーとエネルギー変換 ②エネルギー資源の種類 ③エネルギー変化と効率	2	・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。 ・力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品についての知識を身に付けている。 ・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
7	技術分野 内容B (1)ア 2 エネルギーの変換と利用 3 動力伝達の機構とその利用	①電気エネルギー ②電気機器への利用	4				・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。 ・力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
7	技術分野 内容B (1)ア 3 動力伝達の機構とその利用	①動力伝達のしくみ ②運動を変化させるしくみ	2				・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。 ・力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
9	技術分野 内容B (1)アイ 4 機器の安全な利用と保守点検	①電気機器の構造 ②電気機器の安全な利用 ③電気機器の保守点検 ④機会の保守点検と整備 ⑤機械の安全な利用と事故防止	4			・機器の点検すべき箇所を見付け、保守点検と事故の防止ができる。 ・漏電、感電、過熱及び短絡による事故を防止できる。	・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。 ・社会で利用されている機器等における、エネルギーの変換、制御、利用についての知識を身に付けている。 ・力や運動を伝達する仕組みの特徴や共通部品についての知識を身に付けている。 ・機器の構造や電気回路、各部の働きについての知識を身に付けている。 ・機器の定期点検の必要性についての知識を身に付けている。 ・電気機器の定格表示や安全に関する表示の意味及び許容電流の遵守等、適切な使用方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
10	技術分野 内容B (2)アイ 5 実習	①製作品の構想と設計	9	・省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから設計要素を比較・検討した上で、製作品に適したエネルギーの変換方法や力の伝達の仕組み、構造や電気回路などを決定している。	・設計に基づき、安全を踏まえた製作品の組立て・調整や、電気回路の配線及び回路計などを用いた点検ができる。	・組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
11	技術分野 内容B (1)ウ 6 エネルギー変換に関する技術とわたしたち	①社会・環境とのかかわり ②エネルギー変換に関する技術の役割と影響	1	・エネルギー変換に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		・エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
12	技術分野 内容A (1)ア D (1)エ 1 情報とわたしたちの生活	①情報社会の技術を見てみよう ②情報の技術とその役割	1	・情報に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・情報に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		・情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
1	技術分野 内容D (1)ア 2 コンピュータと情報処理	①コンピュータの構成 ②情報を処理するしくみ ③デジタル化の方法 ④デジタル化した情報の量と保存	2				・コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
2	技術分野 内容D (1)イ 3 情報通信ネットワークの利用	①ネットワークの構成 ②ネットワークでできること ③情報を伝えるしくみ	1				・インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
3	技術分野 内容D (1)ウ 4 ネットワークと情報セキュリティ	①ネットワークの安全性 ②情報セキュリティ ③利用するときのモラル ④発信するときのモラル ⑤人権や個人情報の保護 ⑥知的財産の保護	4	・情報社会において適正に活動しようとしている。	・情報に関する技術の利用場面に応じて、適正に活動している。		・著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
年間合計時数			35	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第2学年 技術・家庭科（家庭分野）年間指導計画及び評価計画

平成27年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①生活や技術への関心意欲態度	②生活を創意工夫する能力	③生活の技能	④生活や技術についての知識、理解	授業中における評価	授業後における評価
4	わたしたちの生活の自立	わたしたちの衣生活	3	衣服のはたらきを理解し、目的に応じた着方を考えている。	目的に応じた着方について考え、自分らしい工夫ができる。	既制服の表示例を読み取り衣服の手入れで実行することができる。	衣服と社会生活とのかかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。	関心意欲態度の観察 発表の内容	ワークシートの確認 定期テスト
5	わたしたちの生活の自立	わたしたちの衣生活	3	エコバッグの製作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	課題を理解して、工夫して作業に取り組んでいる。	1時間ずつの作業を大切にしながら取り組んでいる。	手順を理解し、製作に使用する用具の名称、安全な使い方が理解できる。	関心意欲態度の観察 製作カード 作業の仕方 途中経過の確認	作品 定期テスト
6	わたしたちの生活の自立	わたしたちの衣生活	4	エコバッグの製作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	課題を理解して、工夫して作業に取り組んでいる。	1時間ずつの作業を大切にしながら取り組んでいる。	手順を理解し、製作に使用する用具の名称、安全な使い方が理解できる。	関心意欲態度の観察 製作カード 作業の仕方 途中経過の確認	作品 定期テスト
7	わたしたちの生活の自立	わたしたちの食品の選択と調理	2	安全に注意して、意欲的に実習に取り組んでいる。	材料の特徴も考えながら調理実習に取り組むことができる。	手順を理解し、食材や用具を適切に使い、協力して調理実習に取り組んでいる。	調理実習でおこなった手順が整理できている。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	レポートの確認 定期テスト
9	わたしたちの生活の自立 定期テスト	わたしたちの衣生活	4	エコバッグの製作に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	課題を理解して、工夫して作業に取り組んでいる。	1時間ずつの作業を大切にしながら取り組んでいる。	手順を理解し、製作に使用する用具の名称、安全な使い方が理解できる。	関心意欲態度の観察 製作カード 作業の仕方 途中経過の確認	作品 定期テスト
10	わたしたちの生活の自立	わたしたちの食品の選択と調理	4	安全に注意して、意欲的に実習に取り組んでいる。	材料の特徴も考えながら調理実習に取り組むことができる。	手順を理解し、食材や用具を適切に使い、協力して調理実習に取り組んでいる。	調理実習でおこなった手順が整理できている。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	ワークシートの確認 定期テスト
11	わたしたちの生活の自立	わたしたちの食品の選択と調理	4	安全に注意して、意欲的に実習に取り組んでいる。	材料の特徴も考えながら調理実習に取り組むことができる。	手順を理解し、食材や用具を適切に使い、協力して調理実習に取り組んでいる。	調理実習でおこなった手順が整理できている。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	ワークシートの確認 定期テスト
12	わたしたちの生活の自立	わたしたちの食品の選択と調理 食品の選び方を考えよう	3	わたしたちが普段食べている食品に興味を持てる。	なるべく自然の食材を使うことの大切さがわかる。	資料を探したり、新聞やテレビの情報を利用して食品添加物について調べられる。	どのような食事をすれば、健康に生活できるかが理解できる。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	レポートの確認 定期テスト
1	わたしたちの生活の自立	わたしたちの食品の選択と調理 食品の選び方を考えよう	3	わたしたちが普段食べている食品に興味を持てる。	なるべく自然の食材を使うことの大切さがわかる。	資料を探したり、新聞やテレビの情報を利用して食品添加物について調べられる。	どのような食事をすれば、健康に生活できるかが理解できる。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	レポートの確認 定期テスト
2	わたしたちの生活の自立 定期テスト	わたしたちの生活と住まい	3	住まいについて関心を持ち、自分や家族の住空間と生活行為のかかわりについて考えられる。	室内環境を安全で快適な整え方や住まい方について考えられる。	家族と共に過ごす空間をよりよくするための掃除等に取り組める。	住居のはたらきや機能について理解し、具体的に説明できる。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	レポートの確認 定期テスト
3	わたしたちの生活の自立	わたしたちの生活と住まい	2	住まいについて関心を持ち、自分や家族の住空間と生活行為のかかわりについて考えられる。	室内環境を安全で快適な整え方や住まい方について考えられる。	家族と共に過ごす空間をよりよくするための掃除等に取り組める。	住居のはたらきや機能について理解し、具体的に説明できる。	関心意欲態度の観察 作業の仕方	レポートの確認 定期テスト

年間合計時数 35

\* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。

第3学年 技術・家庭科（技術分野）年間指導計画及び評価計画

平成27年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①生活や技術への関心意欲態度	②生活を創意工夫する能力	③生活の技能	④生活や技術についての知識、理解	授業中における評価	授業後における評価
4 5 6 7 9	技術分野 内容D (2) アイ 6 デジタル作品 の設計と製作	①生活の中のメディア ②デジタル作品の構想 ③情報の収集と加工 ④作品の制作・発表	8	・利用者が安心して利用できる作品を設計・制作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・デジタル作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などからメディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアなどを比較・検討した上で、作品に適したメディアの種類やデジタル化の方法、複合する方法などを決定している。	・設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。	・メディアの素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアを選択し、多様なメディアを複合する方法についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート ・作品 ・定期考査作品
9 10 11 12 1 2	技術分野 内容D (3) ア、イ 7 プログラムによる計測・制御	①生活の中にある制御 ②計測・制御システム ③処理の手順とプログラム ④プログラムによる模型の制御	8	・利用者への影響などを考え、プログラム作成しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。	・計測・制御の目的や条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから情報処理の手順を変更した場合の効果を比較・検討した上で、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	・設計に基づき、簡単な計測・制御のプログラムを作成できる。	・計測・制御システムにおける構成や、その中でのプログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 ・計測・制御システムにおけるインタフェースの必要性についての知識を身に付けている。 ・情報処理の手順についての知識を身に付けている。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しシート ・作品 ・定期考査
3	技術分野 内容D (1) エ 8 情報に関する技術とわたしたち	①社会・環境とのかかわり ②情報社会を生きるために	1.5	・情報に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。	・情報に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		・情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	・授業観察	・ワークシート ・ふり返しカード ・定期考査
年間合計時数			17.5	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					

第3学年 技術・家庭科（家庭分野）年間指導計画及び評価計画

平成27年度 練馬区立中村中学校

月	分野・章・単元	項目	時数	観点別評価規準（観点別達成目標）				評価の場面と評価方法	
				①生活や技術への関心意欲態度	②生活を創意工夫する能力	③生活の技能	④生活や技術についての知識、理解	授業中における評価	授業後における評価
4	ともに生きるわたしたち	わたしたちの成長と家族・地域	1	自分の成長や家族とのかかわりについて関心を持つ。	自分の成長を振り返る。	「命のバトン」の詩の内容が理解できる。	自分の成長と家族とのかかわりについて気づいている。	関心・意欲・態度の観察	ワークシートの確認
5	ともに生きるわたしたち	わたしたちの成長と家族・地域	2	自分の成長や家族とのかかわりについて関心を持つ。	自分の成長を振り返る。	世界の子どもたちや家族の様子について知る。	自分の成長と家族とのかかわりについて気づいている。	関心・意欲・態度の観察	ワークシートの確認
6	ともに生きるわたしたち	幼児の心身の発達の特徴	2	幼児の心身の発達に関心を持つ。	乳幼児期のまわりの対応がいかに大切かを知る。	「狼に育てられた子」の様子をレポートにまとめることができる。	幼児の心の発達が自立へとつながっていくことが理解できる。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子	ワークシートの確認 レポートの確認 定期テスト
7	ともに生きるわたしたち	幼児の生活と遊び	1	幼児にとっていかに遊びが大切かを知る。	幼児の心身の発達を助けるものを工夫し考える。	幼児が喜ぶようなおもちゃをイメージして製作する。	幼児が遊びを通して社会性を身につけていくことを理解する。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子・作業の仕方 途中経過の確認	作品の確認 作品カードの確認 定期テスト
9	ともに生きるわたしたち 定期テスト	幼児の生活と遊び	2	幼児にとっていかに遊びが大切かを知る。	幼児の心身の発達を助けるものを工夫し考える。	幼児が喜ぶようなおもちゃをイメージして製作する。	幼児が遊びを通して社会性を身につけていくことを理解する。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子・作業の仕方 途中経過の確認	作品の確認 作品カードの確認 定期テスト
10	ともに生きるわたしたち	幼児の生活と遊び	2	幼児にとっていかに遊びが大切かを知る。	幼児の心身の発達を助けるものを工夫し考える。	幼児が喜ぶようなおもちゃをイメージして製作する。	幼児が遊びを通して社会性を身につけていくことを理解する。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子・作業の仕方 途中経過の確認	作品の確認 作品カードの確認 定期テスト
11	ともに生きるわたしたち 定期テスト	幼児とのふれあい	2	幼児にとっていかに遊びが大切かを知る。	幼児の心身の発達を助けるものを工夫し考える。	幼児が喜ぶようなおもちゃをイメージして製作する。	幼児が遊びを通して社会性を身につけていくことを理解する。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子・作業の仕方 途中経過の確認	作品の確認 作品カードの確認 定期テスト
12	ともに生きるわたしたち	子どもにとっての家族の意味	2	幼児にとっての家族の存在がいかに大切かを知る。	親にとっての子どもがどんな存在であるかをイメージすることができる。	家庭を持った時に大切なことが表現できる。	子どもを持ったら、夫婦で力を合わせ責任を持って育てていくことが理解できる。	関心・意欲・態度の観察	ワークシートの確認 定期テスト
1	ともに生きるわたしたち	子どもにとっての家族の意味	1	幼児にとっての家族の存在がいかに大切かを知る。	親にとっての子どもがどんな存在であるかをイメージすることができる。	家庭を持った時に大切なことが表現できる。	子どもを持ったら、夫婦で力を合わせ責任を持って育てていくことが理解できる。	関心・意欲・態度の観察	ワークシートの確認 定期テスト
2	ともに生きるわたしたち	幼児のおやつを工夫しよう	2	幼児の身体によい手作りおやつを作る。	手順を頭に入れて、幼児のおやつ作りに取り組める。	班員と協力をして、調理実習に取り組んでいる。	おやつ作りでおこなったことを今後いかしていかそうとする。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子	ワークシートの確認 レポートの確認 定期テスト
3	3年間のまとめ	今までの学習をふりかえり、これからの生活のしかたについて考える。	0.5	これから自立しようとする意欲をもつ。	家族の一員として生活をよりよくしようとする。	家族の一員として生活をよりよくしようとする。	家族の一員として生活をよりよくしようとする。	関心・意欲・態度の観察 作業の様子	プリント振り返り
年間合計時数			17.5	* 観点別の評価は、達成度80%以上がA、60%以上がB、60%未満をCとします。					